

# 万国共通のマクロ鉄則の活用で、 威風堂々、所得倍増計画を！

大阪学院大学名誉教授 丹羽 春喜

- \*膨大なデフレギャップが発生した日本経済
- \*辻褄が合わない内閣府の推計
- \*世界的な不況を生んだ反ケインズ主義
- \*前提が間違っているルーカスの理論
- \*自生的有効需要を増やせば国民所得は増える
- \*政策変数値を伸ばさず、長期停滞招いた
- \*所得倍増計画にいくら必要か
- \*明治維新を成功させた財源の捻出
- \*政府貨幣発行権の所定額分を日銀に売却し、  
「第三の財政財源」を確保せよ！
- \*10年で所得倍増は実現する



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日は丹羽春喜先生にお願いいただきました。丹羽先生は、昭和28年に関西学院大学をご卒業されて、アメリカのハーバード大学で比較経済体制論について学ばれました。帰国後、学位論文にアメリカでの勉強を加えて、東洋経済新報社から本を出されておられます。

比較経済体制論というのは資本主義と社会主義の比較分析をするわけですが、先生は、89年に、それまで秘密のベールに包まれておりましたソ連の軍事支出の実態を統計的手法を使って導き出し、当時の防衛学会（現在の国際安全保障学会）の賞を受賞されておられます。ただ、ソ連は91年に崩壊いたしました。ロシアなどの経済体制はある意味で資本主義の体制になりま

した。

その後、90年代の日本経済の低迷の中、先生は京都産業大学から大阪学院大学に移られ、日本の財政政策と金融政策についての研究領域に、中心的な仕事を移されたということです。退職をされてからも、日本経済の再建をどう進めるかについて、精力的に研究・啓蒙活動をされておられます。

今日は日本経済の現在の状況を、どう打開できるかについて、お話を伺えるということでございます。それではよろしくお願いいたします。（拍手）

膨大なデフレギャップが発生した日本経済

丹羽 ご紹介いただきました丹羽でございます